

いっぶくのリハビリ



デイサービスセンターいっぶくでは、要介護状態の方だけでなく、要支援状態の方や自立されている方も、予防のためにデイサービスに通っておられます。介護が必要な方で、今より良くなりたい方、現状を維持したい方、悪くならないよう予防したい方にも、その方にあった満足して頂けるリハビリプランを提供し、在宅での生活を健やかに過ごして頂けるサポートをさせて頂きたいと考えております。また、関連法人（千春会病院）のセラピストが、定期的にデイサービスを訪問し、専門的なリハビリのサポートをしています。

尚、介護保険制度のサービスとなりますので、ご利用の対象には条件があります。ご興味のある方は、是非、わらくへお問い合わせ下さい。
（担当のケアマネや和束町役場の地域包括支援センターに相談して頂いても結構です。）

《お問い合わせ先》

Tel 0774-78-0165

Fax 0774-78-3883

社会福祉法人 和楽会
デイサービスセンターいっぶく

和楽会 京都





いっぴくの リハビリ

平成29年4月より、わらくのデイサービスは、ご利用される皆様が、生き活きと元気に暮らして頂けるよう自立支援型のデイサービスを目指し、日常生活動作の維持と回復に繋がるリハビリ器具を導入いたしました。要支援の方と総合事業の対象の方にはサイクル方式の予防リハビリプログラムを行っております。もちろん、要介護の方にも活用して頂ける器具を揃えておりますので、ご希望があればケアプランに沿って個別リハビリを実施いたしております。



●レジスタンスチェア
肩関節の可動域を広げる効果があり衣類を着たり、髪の毛をとく動作が楽になります。



●アクティブライダー
転倒予防のリハビリ器具で、下半身の筋力アップと歩行の際の歩幅を広げる効果があり転倒リスクが減ります。



●電動ルームペダル
自転車を漕ぐように運動します。またぐ必要なく安全で電動アシスト機能がついていますので膝の負担が少なくリハビリできます。



●サイクルトレーナー
下肢の筋力強化と持久力が向上。ウォーキングに比べて関節への負荷が少なく、糖尿病や心血管疾患のリスクも軽減します。



●平行棒
歩くことに自身がない方でも、歩行訓練や、立ち上がりの訓練やバランスボールに座って体幹を鍛える等、さまざまなリハビリ方法があります。



●作業療法用具
お箸を持って食べる動作や服のボタンをとめるといった日常生活動作や集中力向上に繋がります。